



平成23年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年3月11日

上場取引所 東

上場会社名 田崎真珠株式会社

コード番号 7968 URL <http://www.tasaki.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役・代表執行役社長

(氏名) 田島 寿一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役・専務執行役

(氏名) 飯田 隆也

TEL 078-302-3321

四半期報告書提出予定日 平成23年3月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年10月期第1四半期の連結業績(平成22年11月1日～平成23年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年10月期第1四半期	3,295	△11.7	△446	—	△442	—	△442	—
22年10月期第1四半期	3,734	△29.2	△257	—	△331	—	△329	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年10月期第1四半期	△2.51	—
22年10月期第1四半期	△1.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年10月期第1四半期	20,144	13,073	64.9	74.29
22年10月期	21,583	13,601	62.5	76.60

(参考) 自己資本 23年10月期第1四半期 13,073百万円 22年10月期 13,481百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年10月期	—				
23年10月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年10月期の連結業績予想(平成22年11月1日～平成23年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,000	△15.8	△1,100	—	△1,200	—	△1,300	—	△7.39
通期	14,600	△4.2	△1,500	—	△1,700	—	△1,900	—	△10.80

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年10月期1Q 37,805,664株 22年10月期 37,805,664株

② 期末自己株式数 23年10月期1Q 1,816,125株 22年10月期 1,814,049株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年10月期1Q 35,990,582株 22年10月期1Q 35,996,041株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1.	当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	その他の情報	3
	(1) 重要な子会社の異動の概要	3
	(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
	(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3.	四半期連結財務諸表	4
	(1) 四半期連結貸借対照表	4
	(2) 四半期連結損益計算書	6
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
	(4) 継続企業の前提に関する注記	8
	(5) セグメント情報	8
	(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国の需要拡大を背景に一部企業収益の改善がみられたものの雇用情勢の回復までに至らず、景気は先行き不安のまま推移いたしました。

宝飾業界におきましては、景気の先行き不透明感からの消費の低迷と顧客嗜好の多様化、また、業界内の競争激化等により、環境は引き続き厳しい状況下にありました。

このような状況のもと、当社グループは新C I導入をはじめとする新ブランド戦略を引き続き推進しており、当第1四半期連結累計期間には東京都千代田区に紀尾井町店をオープンし、販売拡大を進めております。

売上面におきましては、銀座本店の店頭売上が前年を上回るなど新ブランド戦略の効果が着実に出ておりますが、個人消費の低迷による売上の落ち込みをカバーするには至らず、また、海外子会社もグローバルな景気後退の影響は避けられず、一部事業縮小したこともあり、売上高は減少いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は32億95百万円（前年同四半期比11.7%減）となりました。

利益面におきましては、生産体制の合理化と組織改革による原価率の改善、並びに、販売費及び一般管理費の削減に注力いたしました。しかしながら、売上の落ち込みの影響が大きく、営業損益は4億46百万円の損失（前年同四半期は2億57百万円の損失）、経常損益は4億42百万円の損失（前年同四半期は3億31百万円の損失）となりました。また、四半期純損益は特別利益に新株予約権戻入益1億20百万円、特別損失に資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額88百万円を計上したこと等により、税効果会計を加味した結果、4億42百万円の損失（前年同四半期は3億29百万円の損失）となりました。

セグメントの概況は、以下のとおりであります。

小売事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は28億38百万円、営業損失は4億3百万円となりました。

卸売事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は4億57百万円、営業損失は39百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債、純資産の状況）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ14億38百万円減少し201億44百万円となりました。これは、主に流動資産においては現金及び預金の減少13億34百万円、固定資産においては敷金及び保証金の減少2億4百万円によるものであります。

負債の部につきましては、前連結会計年度末と比べ9億10百万円減少し70億70百万円となりました。これは、主に有利子負債の減少2億64百万円、及び、未払金の減少6億40百万円によるものであります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末と比べ5億27百万円減少し130億73百万円となりました。これは、主に新株予約権の減少1億20百万円、及び、当第1四半期連結累計期間の純損失計上による利益剰余金の減少4億42百万円によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末から13億35百万円減少し、22億16百万円となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、9億70百万円の減少となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純損失4億7百万円、減価償却費1億34百万円、新株予約権戻入益1億20百万円、仕入債務の減少額1億10百万円等によるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、1億12百万円の減少となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出2億98百万円等によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、2億65百万円の減少となりました。

これは、長期借入金の返済による支出2億64百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績につきましては、平成22年12月14日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

なお、業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 資産除去債務に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第1四半期連結会計期間の営業利益は3百万円、経常利益は3百万円、税金等調整前四半期純利益は91百万円減少しております。また、当会計基準の適用開始による資産除去債務の変動額は1億53百万円であります。

② 表示方法の変更

（四半期連結損益計算書関係）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用に伴い、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,307,429	3,642,218
受取手形及び売掛金	698,638	748,060
商品及び製品	7,664,021	7,775,585
仕掛品	579,758	444,622
原材料	1,451,841	1,332,040
繰延税金資産	8,469	—
その他	1,239,012	1,393,260
貸倒引当金	△13,734	△12,201
流動資産合計	13,935,435	15,323,586
固定資産		
有形固定資産	3,707,584	3,565,580
無形固定資産	120,018	122,482
投資その他の資産	2,381,716	2,571,906
固定資産合計	6,209,319	6,259,969
資産合計	20,144,755	21,583,556
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	452,423	556,227
1年内返済予定の長期借入金	529,974	529,974
未払法人税等	24,265	62,858
賞与引当金	—	96,957
その他	558,802	1,210,923
流動負債合計	1,565,465	2,456,941
固定負債		
長期借入金	2,119,895	2,384,882
繰延税金負債	72,532	41,755
再評価に係る繰延税金負債	78,873	78,873
退職給付引当金	3,000,986	2,950,625
資産除去債務	168,779	—
その他	64,266	68,697
固定負債合計	5,505,335	5,524,835
負債合計	7,070,800	7,981,777

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,500,000	7,500,000
資本剰余金	8,809,343	8,809,343
利益剰余金	△2,207,931	△1,765,344
自己株式	△792,090	△791,935
株主資本合計	13,309,320	13,752,062
評価・換算差額等		
土地再評価差額金	105,039	105,039
為替換算調整勘定	△340,405	△375,713
評価・換算差額等合計	△235,365	△270,674
新株予約権	—	120,391
純資産合計	13,073,954	13,601,779
負債純資産合計	20,144,755	21,583,556

(2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年1月31日)
売上高	3,734,177	3,295,794
売上原価	1,566,573	1,255,144
売上総利益	2,167,604	2,040,649
販売費及び一般管理費	2,425,168	2,487,296
営業損失(△)	△257,564	△446,646
営業外収益		
受取利息	4,388	3,453
保険配当金	7,900	4,386
為替差益	—	18,926
雑収入	12,975	12,672
営業外収益合計	25,265	39,439
営業外費用		
支払利息	54,236	32,129
為替差損	29,978	—
雑損失	15,439	2,976
営業外費用合計	99,654	35,105
経常損失(△)	△331,953	△442,312
特別利益		
固定資産売却益	2,500	—
貸倒引当金戻入額	5,738	2,591
新株予約権戻入益	—	120,391
特別利益合計	8,238	122,983
特別損失		
固定資産除売却損	279	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	88,223
特別損失合計	279	88,223
税金等調整前四半期純損失(△)	△323,993	△407,553
法人税、住民税及び事業税	13,524	12,517
法人税等調整額	△8,356	22,516
法人税等合計	5,167	35,033
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△442,587
四半期純損失(△)	△329,161	△442,587

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△323,993	△407,553
減価償却費	58,998	134,614
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,639	△14,390
賞与引当金の増減額(△は減少)	△50,061	△96,957
退職給付引当金の増減額(△は減少)	47,909	50,361
受取利息及び受取配当金	△4,388	△3,453
支払利息	54,236	32,129
為替差損益(△は益)	△2,467	△18,083
固定資産除売却損益(△は益)	△2,220	—
株式報酬費用	63,384	—
売上債権の増減額(△は増加)	466,618	64,968
たな卸資産の増減額(△は増加)	218,040	△110,487
仕入債務の増減額(△は減少)	107,068	△110,903
新株予約権戻入益	—	△120,391
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	88,223
その他	△28,651	△340,132
小計	598,834	△852,057
利息及び配当金の受取額	4,994	922
利息の支払額	△104,353	△63,294
法人税等の支払額	△57,094	△56,254
営業活動によるキャッシュ・フロー	442,380	△970,684
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△38,749	△11,467
定期預金の払戻による収入	35,763	11,410
有形固定資産の取得による支出	△424,404	△298,807
有形固定資産の売却による収入	39,361	—
その他	△16,754	186,598
投資活動によるキャッシュ・フロー	△404,783	△112,266
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△264,987
その他	△117	△155
財務活動によるキャッシュ・フロー	△117	△265,142
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13,064	12,101
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	24,415	△1,335,992
現金及び現金同等物の期首残高	5,594,792	3,552,114
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,619,208	2,216,122

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成21年11月1日至平成22年1月31日)

	小売事業 (千円)	卸売事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,354,956	1,379,221	3,734,177	—	3,734,177
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	36,580	36,580	(36,580)	—
計	2,354,956	1,415,801	3,770,757	(36,580)	3,734,177
営業利益又は 営業損失(△)	191,866	29,312	221,178	(478,742)	△257,564

(注) 1 事業区分は内部管理上採用している区分によっております。

2 事業区分の主な内容

- (1) 小売事業……………店舗販売・展示会販売・外商販売等
(2) 卸売事業……………国内卸売・海外卸売・ルート販売等

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成21年11月1日至平成22年1月31日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	その他の 地域(千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,359,471	374,705	—	3,734,177	—	3,734,177
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	104,307	40,032	—	144,339	(144,339)	—
計	3,463,779	414,738	—	3,878,517	(144,339)	3,734,177
営業利益又は 営業損失(△)	222,162	△6,876	△1,413	213,872	(471,436)	△257,564

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度により区分しております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア……………香港・中国・台湾・韓国・ミャンマー
(2) その他の地域……………米国・ベルギー

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自平成21年11月1日至平成22年1月31日)

I 海外売上高(千円)	676,757
II 連結売上高(千円)	3,734,177
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	18.12

(注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっており、米国・アジア等に区分しておりますが、連結売上高に占める各区分毎の売上高の割合は、いずれも10%未満であります。

2 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象として「小売事業」と「卸売事業」の2つを報告セグメントとしております。

各事業の内容は下記のとおりであります。

- (1) 小売事業・・・店舗販売・展示会販売・外商販売等
- (2) 卸売事業・・・国内卸売・海外卸売等

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自平成22年11月1日至平成23年1月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	小売事業	卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,838,009	457,785	3,295,794	—	3,295,794
セグメント間の内部売上高 又は振替高	52,522	67,431	119,953	(119,953)	—
計	2,890,531	525,216	3,415,748	(119,953)	3,295,794
セグメント損失(△)	△403,521	△39,714	△443,235	(3,411)	△446,646

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額△3,411千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。